

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：山本暁子

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R6. 5. 10	R6. 5. 10	鳥取県鳥取市湖山町西4丁目110-5	一般社団法人鳥取県地域教育推進局	代表理事 [redacted]	鳥取空港学びのサロン参加	0510-01
R6. 5. 15～17	R6. 5. 15 9:30～10:00	東京都千代田区霞が関3-1-1	財務省	財務副大臣	要望・意見交換	0428-01 0517-01
	R6. 5. 15 10:00～15:30	東京都千代田区永田町2丁目2-1	衆議院第一議員会館、衆議院第二議員会館、参議院会館、	衆議院議員小泉進一郎氏、衆議院議員石破茂氏、参議院議員青木一彦氏、舞立しょうじ氏、藤井一博氏	要望・意見交換	
	R6. 5. 16 9:00～	東京都豊島区高松3丁目6-7	豊南高校	Pestalozzi Technology 株式会社 [redacted]氏 他	体力テストデジタル集計に関する視察調査	
	R6. 5. 16 10:00～	東京都新宿区西新宿2丁目8-1	東京都庁舎	東京都教育庁指導部 体育健康教育担当課長 伊東直晃氏等	体力テストデジタル集計に関する視察調査	
	R6. 5. 17 14:00～16:00	東京都江東区有明3丁目11-1	東京ビッグサイト	(株)ティアフォーマーケティングディレクター [redacted]等	SusHi Tech Tokyo2024 視察	0707-03 0707-04
R6. 7. 6～7	R6. 7. 6 19:00～22:00 R6. 7. 7 5:00～6:00	鳥取県米子市尾高町111-29 大山付近等	(株)山と溪谷社等	猟師[redacted]さん等	有害鳥獣現場視察・ジビエ・学校給食等	
R6. 7. 22～23	R6. 7. 23 9:00～12:00	東京都千代田区霞が関3丁目2-2	文化庁	文化経済・国際課 新文化芸術創造室長 向後明希子氏等	日本博 2.0 ととっとり漫画王国についての意見交換	0717-01 0722-01 0723-01 0723-02
R6. 7. 26	R6. 7. 26	鳥取県鳥取市国府町新町2	あおば地区公民館	参加者5名	地域のお困りごと相談会	0725-01

		丁目246-4				
R6. 7. 31	R6. 7. 31	鳥取県鳥取市 国府町栃本4 71-3	大茅地区公民館	参加者2名	地域のお困り ごと相談会	0731-01
R6. 8. 18～ 20	R6. 8. 18 9:00～12: 00	島根県隠岐郡 海士町福井 1365-5	AMU WORK(海士 町複業協同組 合)	■■■■氏	副業協同組合 の取り組みに ついて視察調 査	0818-01 0819-01 0819-02 0820-04
	R6. 8. 18 13:00～17: 00	島根県隠岐郡 隠岐郡海士町 福井1339	隠岐島前高校	一般財団法人 島前岡函さと 魅力化財団 ■■■■氏 他	大人の島留学 事業、隠岐学習 センターなど の取り組みに ついて	
R6. 8. 22	R6. 8. 22	東京都千代田 区永田町2丁 目2-1	衆議院第二議 員会館	衆議院議員石 破茂氏、国際女 性の地位協会 共同代表■■■■ 氏ほか	国際女性の地 位について要 望と意見交換	0822-01 0822-02
R6. 10. 12 ～13	R6. 10. 12 9:00-18:10 R6. 10. 13 9:00-16:50	鳥取県鳥取市 東町1丁目2 20	鳥取県庁	鳥取県危機管 理部消防防災 課、日本防災士 機構等	防災士養成研 修	0820-02
R6. 8. 29	R6. 8. 29	鳥取県鳥取市 国府町栃本4 71-3	大茅地区公民館	参加者3名	地域のお困り ごと相談会	0828-01
R6. 9. 6～7	R6. 9. 6 15:00～17: 00	東京都千代田 区永田町2丁 目2-1	衆議院第二議 員会館	衆議院議員石 破茂秘書■■■■ 氏、日本 ジビエ振興協 会■■■■ 氏ほか	地方創生とジ ビエ振興につ いて、関西万博 について意見 交換等、ヒアリ ング	0905-03 0906-01 0907-01 0907-02
R6. 9. 8～9	R6. 9. 8 16:00～18: 00	東京都港区新 橋一丁目11番 7号	とっとりおか やま新橋館	食JO Social Business ■■■ 氏ほか	鳥取の食材の PRについて	0908-01 0909-02
R6. 11. 7～ 8	R6. 11. 7 18:00～21: 00、R6. 11. 8 9:00～ 12:00	鳥取県米子市 末広町294	米子コンベン ションセンタ ー	農林水産省経 営局就農・女性 課女性活躍推 進室長伊藤 里香子氏 他	、農地利用の最 適化(①担い手 への農地利用 集積・集約 化、②遊休農地 の発生防止・解 消、③新規参入	1108-01

					の促進)の推進等について意見交換	
R6. 11. 9	R6. 11. 9	鳥取県鳥取市西町1丁目118	スプリングビル	参加者 12 名	県政報告と住民との意見交換を行った	1109-01
R6. 11. 22 ～23	R6. 11. 22	岡山市北区幸町 8-29	在岡山鳥取県人会	在岡山鳥取県人会 会長 氏 ほか	鳥取と岡山の連携について	1122-03 1122-05 1123-01
R6. 12. 20 ～22	R6. 12. 20 10:00～12:00	東京都中央区晴海1丁目8-10	リコージャパン株式会社 晴海トリトン事業所	リコーITソリューションズ株式会社 執行役員 CTO ITソリューション事業本部 本部長 氏ほか	オフィスの DX 化、防災 DX、NOTESからの脱却についてなど 意見交換とオフィス視察	1206-01
R6. 12. 22 ～23	R6. 12. 23 9:00～	鳥取県倉吉市巖城 997-3	流通株式会社	代表取締役 氏 ほか	星取テラスの取り組みなど視察調査	1223-01
R7. 1. 6	R7. 1. 6	鳥取県鳥取市今町2丁目153	鳥取市	深沢鳥取市長、平井知事ほか	新年市民合同祝賀会	0106-01
R7. 1. 13	0113-02	鳥取県鳥取市国府町栃本 471-3	おおかや郷づくり協議会	30 名参加	大茅地区新年祝賀会	0113-02
R7. 1. 20～22	R7. 1. 21	東京都千代田区永田町2丁目2-1	衆議院第一議員会館	山陰近畿自動車道整備推進三府県議連	山陰近畿自動車道整備推進決起大会	0114-01 0114-02 0121-02
R7. 2. 17～19	R7. 2. 17 13:30～15:00	横浜市中区弁天通2丁目22	大林組	伝統建築・ヘリテージプロジェクト・チーム サブリーダー 営業総本部 営業企画室 担当部長 氏ほか	鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 県外視察 高層純木造耐火建築物視察	0216-01 0218-02 0226-02
	R7. 2. 18 9:30～10:50	江東区東陽3丁目25-12	竹中工務店	竹中工務店 氏 他	免震高層木造ハイブリット建築 免震高層木造ハイブリット建築視察	

R7. 2. 23	R7. 2. 23 10:00~12:00	鳥取県鳥取市 西町1丁目1 18	県政報告会	元鳥取市長 竹内功氏 他	県政報告と住 民との意見交 換を行った	0223-01
R7. 3. 30 ~ 4. 5	R7. 3. 30 ~ 4. 5	フィンランド、 オーストリア	LUKE、TAPIO、メ ッツァテオリ ス、在フィンラ ンド日本国大 使館、マイヤー メルンホフ社、 在オーストリ ア日本国大使 館ほか	メッツァテリ オス CEO ■■■ ■■■ 氏 ほか	両国の情勢と 林業に関する 視察	0118-01 0306-01

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 山本暁子

活 動 事 項	体力テストデジタル集計に関する視察調査など
活 動 年 月 日	令和6年5月15日(水) 移動日、宿泊 同上 16日(木) 9:10~12:00 政務活動 同上 17日(金) 14:00~16:00 政務活動
場 所	豊南高校、東京都庁、東京ビッグサイト (SusHi Tech Tokyo2024)
活動の相手方	Pestalozzi Technology 株式会社 代表取締役社長 CEO [REDACTED] 氏 学校法人豊南学園 理事長 高校校長 [REDACTED] 氏 東京都教育庁指導部 体育健康教育担当課長 伊東直晃氏 他
活 動 の 目 的	東京都における東京都の全生徒の体力テストデータデジタル化の取り組みについて内容聴取、意見交換を行い、その結果を県政の提言などにつなげる。また、東京都で行われた初めての空飛ぶ飛行機実証実験や自動運転技術の展示会などにも参加し、世界の最新技術を学んだ。
活 動 の 内 容	<豊南高校にて> Pestalozzi Technology 株式会社開発の体力テストデジタル集計アプリ「ALPHA」を使いながら体力テストを実施している様子を視察した。また、高校校長や体育担当の教師などからも実運用について意見を交換した。 <東京都庁> 東京都教育庁に伺い、実際の行政側の運用実態について学び、意見交換を行った。外部委託先の学研担当者なども参加し、実運用の実態を学ぶことができた。 <SusHi Tech Tokyo2024> 日本初空飛ぶ車の実証実験を会場で見学した後、自動運転バスを提案する企業4社、自動運転車いすやモビリティーなど最先端技術を展示するスタートアップ企業の展示を視察し、担当者にヒアリングなどを行った。

活動の結果等	体力テストデジタル集計については、鳥取県教育委員会体育保険課学校体育担当者などと情報を共有し、鳥取県におけるデジタル推進について意見交換を行った。現在鳥取県でも体力テストデジタル集計については推進中。東京都が導入している「ALPHA」ほどシステムが優れているわけではない。しかし、調査の結果、鳥取県の組織体系や現在の学校現場の状況、予算などを鑑みて東京都のようなシステムを導入することはハードルが高いと判断をした。しかしながら、「ALPHA」のUI など取り入れるべき要素はありと考え、低予算で現在のシステムを改良する方向で話が進んだ。 SusHi Tech で学んだ自動運転技術とサービスを提供する会社のひとつが、鳥取市においてバス自動運転の実証実験をする予定であり、実際に試乗することにした。他社の技術と比較して、得るものがあれば鳥取市にも提言することができると考えている。
関連領収書番号	0428-01、0517-01

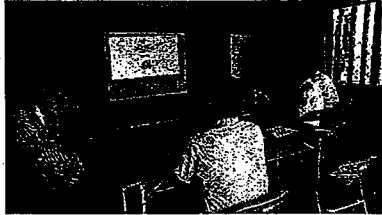
活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 山本暁子

活 動 事 項	日本博 2.0 と「とっとり漫画王国」についての意見交換
活 動 年 月 日	R 6 年 7 月 22 日（火） 移動日、宿泊 同上 23 日（水） 9:00～12:00 視察
場 所	文化庁 東京庁舎（東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 2 号）
活動の相手方	文化経済・国際課 新文化芸術創造室長 向後明希子氏 ほか
活 動 の 目 的	日本博 2.0 と「とっとりまんが王国」についての内容聴取と意見交換 またインバウンドをみすえた「とっとりまんが王国」の可能性について意見交換を行い、その結果を県政の提言などにつなげる
活 動 の 内 容	文化経済・国際課 新文化芸術創造室長 向後明希子氏から日本博 2.0 についての概要を伺った。また、環境交流局まんが王国官房側からも情報を提供し、インバウンドを見据えた「とっとりまんが王国」の可能性、国との協力の可能性について模索した。
活 動 の 結 果 等	日本博 2.0 の取り組みは、海外から訪れる観光客にむけて、PR を強力にサポートするものであることが分かった。しかしながら市町村ならびに企業に伝わっておらず、活用が十分されていない。募集期間が短いため、実現可能かどうか分からないが、鳥取県でも可能性のある団体に呼びかけをし、応募に際しても担当者とスムーズに連携が取れるよう体制を組んでいただくようお願いをした。 実際、鳥取市内のある団体に紹介をすることができ、文化庁の担当者 とつなぐことができた。 
関連領収書番号	0722-01、0723-01、0723-02

活動報告(県外・国外)

議員名：山本暁子

活動事項	隠岐島前高校の教育魅力化プロジェクトと島留学についての視察
活動年月日	R 6 年 8 月 18 日 (日) 移動日、宿泊 同上 19 日 (月) 8:00~17:35 視察、宿泊 同上 20 日 (火) 移動
場所	AMU WORK 隠岐副業協同組合 (海士町福井 1365-5) 県立隠岐島前高校 (海士町福井 1403)
活動の相手方	AMU WORK 隠岐副業協同組合 〇〇氏 海士町 副町長 中川寛敬氏 一般財団法人島前岡函さと魅力化財団 隠岐國学習センター スタッフ 〇〇氏 ほか
活動の目的	10 年前、隠岐島前地域では、この地域唯一である隠岐島前高校が生徒数の減少により廃校の危機を迎えていた。しかしながら、行政の様々な施策や住民の努力により「島前高校魅力化プロジェクト」が成功をおさめ、「地域に子どもが留まり、若ものが流入。そして未来の担い手が増えることで、地域の文化・産業が継続・発展。最終的には、それが更なる魅力につながり、好循環を生み出す」ことにつながった。成功の秘訣を探り、現在どのような社会課題に対して取り組んでいるのか内容聴取、意見交換を行い、その結果を県政への提言等につなげる。
活動の内容	<AMU WORK 隠岐副業協同組合> AMU WORK は、漁業、農業、畜産、観光など、島の産業の季節的な需要に対応するために、異なる仕事を組み合わせたユニークな雇用スタイルを行っているが、運用方法や実態、課題などについて意見を伺った。  <県立隠岐島前高校> 学校・行政・地域住民が連携し、日本各地から生徒を募る「島留学」制度や、地域住民が留学生を支援する「島親」制度など、魅力的な取り組みを行っているが、その運用方法の詳細について聞き取りをおこなった。また、島前研修交流センター「三燈」の設置や、地域と連携した学校運営、地域課題解決型の探究学習など、実際におこなわれている教室などの環境を視察し、実態や課題などについて意見を伺った。

	
活動の結果等	特定地域づくり事業協同組合として、鳥取県では日野町、智頭町、若桜町が挙げられる。自治体が国の様々な制度を活用して「島留学」や「島親」など工夫した取り組みがあつてこそ、副業協同組合が成り立っていることが分かった。副業協同組合自体は法律的にクリアしなければならない問題があるが、成功させるためには様々な施策を面で行っていく必要があることが分かった。 また、「島留学」について、実際行政はどのように運用しているか疑問であつたが、実態は「地域おこし協力隊」の制度を活用していることがわかった。名前を変えて募集することで島全体の経済効果が上がるほどの成果を得られることに驚き、このような国の制度の活用方法を鳥取県も取り入れるべきだと感じた。今回発見した様々な工夫について、今後の議会質問などに反映させていきたい。
関連領収書番号	0818-01、0819-01、0819-02、0820-04

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名：山本暁子

活 動 事 項	国際女性の地位について要望と意見交換
活 動 年 月 日	R 6 年 8 月 22 日 (日) 10:00~12:00
場 所	衆議院第二議員会館
活 動 の 相 手 方	衆議院議員 石破茂氏 国際女性の地位協会共同代表 XXXXXXXXXX 氏 ほか
活 動 の 目 的	国際女性の地位について要望と意見交換を行い、その結果を県政への提言につなげる。
活 動 の 内 容	地方創生にむけ、女性の活躍を推進している石破茂衆議院議員、国際女性の地位協会共同代表の方たちと意見交換を行った。 また、日本の女性を取り巻く状況は国際的にどのように見えているのかなどヒアリングを行った。 
活 動 の 結 果 等	国際的に日本がおかれている地位の状況について、客観的に意見を伺った。法律的に解消すべきことがいろいろあることが分かったが、まずは鳥取県でできることをやっていきたいと考え、まずは「アンコンシャスバイアス」の解消にむけて議会に提言を行うこととした。
関連領収書番号	0822-01、0822-02

活 動 報 告（県外・国外）

議員名：山本暁子

活 動 事 項	地方創生とジビエ振興について、関西万博についてヒアリングと意見交換
活 動 年 月 日	R 6 年 9 月 6 日（金） 15：00～17：00 政務活動、移動、宿泊 同日 7 日（土） 移動日
場 所	衆議院第二議員会館、農林水産省
活 動 の 相 手 方	衆議院議員石破茂秘書 ■■■■■氏 日本ジビエ振興協会■■■■■氏 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室 鳥獣被害対策調査技術班 鳥獣利活用企画係 米本有里氏 ほか
活 動 の 目 的	有害鳥獣捕獲後の処理（ジビエカーなど）についての意見交換と関西万博に向けたジビエの国の取り組みについて
活 動 の 内 容	日本ジビエ振興協会ではジビエカーの普及に取り組んでいる。鳥獣食肉利活用推進議員連盟会長の石破茂氏の秘書である■■■■■氏と意見交換を行い、活用方法について意見交換を行った。 また、関西万博でも農林水産省がジビエの展示を行う予定であり、ジビエ推進を行っている鳥取県との協業の可能性について意見交換などを行った。
活 動 の 結 果 等	鳥取県のジビエ推進協議会と日本ジビエ振興協会と密に連携を取っていく可能性を模索し、万博に向けて鳥取県のジビエをPRしていくことを鳥取県の食パラダイス推進課に提言した。
関連領収書番号	0905-03、0906-01、0907-01、0907-02

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 山本暁子

活 動 事 項	鳥取の食材の PR について東京都内の企業と意見交換
活 動 年 月 日	R 6 年 9 月 8 日（日） 15：00～19：00 政務活動、移動、宿泊 同日 9 日（月） 移動日
場 所	とっとりおかやま新橋館
活動の相手方	食 JO Social Business ■■■■■ 氏 ほか
活 動 の 目 的	東京都や神奈川県から鳥取県の食材について問い合わせがあり、意見交換を行うことになった。食材の PR もかねてとっとりおかやま新橋館で実際に食材をみてもらいながら、企業の需要などをヒアリングし、その結果を県政への提言等につなげる
活 動 の 内 容	鳥取の食材（とっとりジビエや黒らっきょう等）の PR について食 JO Social Business ■■■■■ 氏等から、首都圏での取り組み状況や可能な対策についての概要を聴取した。 その後、首都圏での効果的な PR に向けての具体的な検討経過や、途上で発生が予想する費用や競合、提携先の募集等の課題に対する将来的な対応策及び、現状を踏まえた予算を抑えた形での近々の取組に係る展望について積極的な意見交換を行った。
活 動 の 結 果 等	首都圏を中心とする大都市圏において、新たなグルメジャンルや健康食材としてジビエが注目されつつあるが、いち早くジビエの普及と安全性の確保に着手し活動してきた当県のジビエの魅力と今後の展望について、プロモート業者やその関連事業者に対して具体的な PR を行うことができた。 農福連携（黒らっきょうなどの取り組み）についても、商材としての魅力を合わせて PR し、同ルートに乗せることで今後の取り扱いについて具体的な展望を共有することができた。 これらのルート開拓の結果については、執行部に対しても情報を共有していくことで、県全体として一貫性と厚みのある売り込みを行い、大商圏への効果的な販路の開拓へとつなげていく。
関連領収書番号	0908-01、0909-02

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名：山本暁子

活 動 事 項	鳥取県と岡山県の連携について
活 動 年 月 日	R 6 年 11 月 22 日 (金) 15:30~19:30 政務活動、宿泊 同日 23 日 (土) 移動日
場 所	ホテルグランビア岡山
活 動 の 相 手 方	在岡山鳥取県人会 会長 XXXXXXXXXX 氏 ほか
活 動 の 目 的	在岡山鳥取県人会に出席される企業や団体の皆さんに対し、ヒアリングと意見交換を行う。
活 動 の 内 容	岡山における住民支援サービスや県としての取り組み。また、鳥獣対策をはじめとする農林業の保護と振興についての現状を、隣県である岡山に住み、鳥取の状況も把握している在岡山鳥取県人会の会長等にヒアリングすることで俯瞰的に把握し、鳥取県における施策への参考、問題点の精査を行った。 その後、岡山県で各施策の実施に至るまでの具体的な検討経過や、途上で発生した課題に対する対応策及びその結果についても積極的な意見交換を行うことで、当県での施策への課題の解像度を高めた。
活 動 の 結 果 等	岡山理科大学では、鳥取県と就職支援協定締結が行われているなど、隣県として協力して行っている事業が多くある。また、鳥取出身者の起業家も多くいることから、今後も多くの分野や問題解決に置いて連携を強化していく重要性和可能性を再確認できた。 また、県境の市町村議員や、鳥獣対策を行っている企業からは、鳥獣対策についての質問も多くあり、問題の深刻さが伺えた。今後は鳥取岡山県境議連とも連携し、県境のクマやシカなどの有害鳥獣対策や森林保全・開発事業などにおいての連携も重要となる。 これらのあらわになった問題点や必要な施策について、議員連盟の提言に加えていく予定である。
関連領収書番号	1122-03、1122-05、1123-01

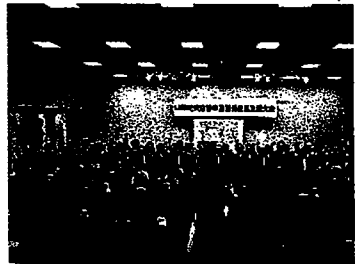
活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 山本暁子

活 動 事 項	オフィスの DX 化、防災 DX、NOTES からの脱却について
活 動 年 月 日	R 6 年 12 月 20 日（金） 10：00～12：00 政務活動
場 所	リコージャパン株式会社 晴海トリトン事業所
活動の相手方	リコー IT ソリューションズ株式会社 執行役員 CTO IT ソリューション事業本部 本部長 ■■■■■ 氏ほか
活 動 の 目 的	オフィスの DX 化、防災 DX、NOTES からの脱却についてヒアリングと意見交換を行う。また、ブラック企業が多いとされている IT 企業業界の中、ホワイト化に成功した要因を探り、オフィス環境を視察する。
活 動 の 内 容	行政・団体及び、県内企業の DX 化推進に向けた取り組みについて印田氏との意見交換を行った。 リコージャパンがコロナの時期を利用して Notes から SharePoint への移行を行ったことを踏まえ、鳥取県内でもソフトウェア環境の刷新を行い、効率化を図るための意見交換を行った。 大企業で現在進められている働き方改革についてもヒアリングを行い、行政等での取り組みに取り入れが可能かどうか、その際の注意点は何かといったことについて精査した。 具体的内容としては、オフィスツアーや在宅ワークがしやすいオフィス環境の構築について、配信専用のルームの設備のチェック。ペーパーレス環境のミーティングルームなどの視察と聴取を行った。
活動の結果等	本県。特に行政機関においては、民間大手のリコーとは事情が異なる点もあるが、参考・流用が可能な施策は多く発見することができた。特にソフトウェア環境の刷新は今後の職員や従業員の人材不足が予想される本県において避けられない事業であり、そのための問題点や段階の踏み方について大いに参考となった。今後、IT を活用した人材不足問題対策と行政サービスの拡充に向けての議会質問等の政務活動に反映させていきたい。
関連領収書番号	1206-01

活 動 報 告（県外・国外）

議員名：山本暁子

活 動 事 項	山陰近畿自動車道整備推進決起大会参加
活 動 年 月 日	R7年1月20日（日） 移動、宿泊 同日 21日（月） 9:00～12:00 政務活動
場 所	衆議院第一議員会館
活動の相手方	国土交通省 政務官 吉井氏 国土交通省 道路局長 山本氏 ほか
活 動 の 目 的	山陰近畿自動車道整備推進三府県議連の委員として、決起大会に参加し、国に対して提言書を提出する。
活 動 の 内 容	山陰近畿自動車道整備推進三府県議連の広谷会長とともに、国に対して早期に山陰近畿自動車道整備を完了することを要望した。 
活動の結果等	山陰近畿自動車道は、山陰海岸国立公園、ユネスコ山陰海岸ジオパークへの更なる誘客を促進する道路であり、災害時の緊急支援道路としても重要な道路。兵庫県、京都府側の道路の着工が進んでいないため、他県の議員とも協力してさらに推し進めていく活動を行う必要がある。また、鳥取県内では、南北線の都市計画、さらにはインターチェンジの必要性について検討する必要がある。議連活動によって、さらに推進していきたい。
関連領収書番号	0114-01、0114-02、0121-02

活 動 報 告（県外・国外）

議員名：山本暁子

活 動 事 項	CLT を用いた高層純木造耐火建築物の視察
活 動 年 月 日	R7年2月17日（日） 13：30～15：00 政務活動 同日 18日（月） 9：30～10：50 政務活動
場 所	大林組 構想準木造耐火建築物 Port Plus（東京） 竹中工務店 免震高層木造ハイブリット建築フラッツウッズ木場（東京）
活 動 の 相 手 方	大林組 伝統建築・ヘリテージプロジェクト・チーム サブリーダー 営業 総本部営業企画室 担当部長 ■■■■■ 氏 竹中工務店 ■■■■■ 氏 ほか
活 動 の 目 的	鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の県外視察にて東京の CLT に よる高層純木造耐火建築物などの視察をし、意見交換を行う。
活 動 の 内 容	CLT を用いた大林組の構想準木造耐火建築物 Port Plus、竹中工務店の免 震高層木造ハイブリット建築フラッツウッズ木場を見学。CLT 建築の可能 性や将来性などをヒアリングした。
活 動 の 結 果 等	鳥取県日南町（オロチ）産の LVL や南部町（鳥取 CLT）産の CLT が採 用されており、今後、本県林業・林産業の可能性を感じた。
関連領収書番号	0216-01、0218-02、0226-02

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名：山本暁子

活 動 事 項	フィンランド及びオーストリアにおける林業をはじめとした先進的な取り組み等について調査
活 動 年 月 日	R7年3月30日(日) 移動 31日(月) 9:30~11:00 政務活動 13:30~15:00 政務活動
場 所	LUKE (天然資源センター研究機関) ※フィンランド ヘルシンキ TAPIO (森林管理コンサルタント) ※フィンランド ヘルシンキ
活動の相手方	LUKE BIOSYS ジャパンエコシステム代表 氏 TAPIO カスタムサービスディレクター 氏 ほか
活 動 の 目 的	鳥取県と岡山県の県境地域の共通課題解決に向けて、フィンランド及びオーストリアにおける林業をはじめとした先進的な取り組み等について調査を行い、今後の両県の施策立案の参考とする
活 動 の 内 容	<LUKE (ルケ) > 代表ほか 4 名の研究者より聴き取りを実施。フィンランドにおける天然資源への考え方。その主となる森林の管理の方法と今後の活用についてヒアリングを行った。 <TAPIO (タピオ) > カスタムサービスディレクター、森林分析・計算部門プロダクトマネージャーに聞き取りを実施。20年先を考えた持続可能な森林経営、シンリンシゲンインベントリ、森林経営計画など、森林管理者に提供しているソフトウェアを中心にヒアリングを行った。
活 動 の 結 果 等	国土の7割が森林を占め、産業総生産の2割が林業のフィンランド。日本の林業は国の助成がないと成り立たないが、フィンランドでは産業として成り立っている。土地の起伏の少ないという利点もあるが、国を挙げてデジタル化をすすめており、土地所有者が積極的に森林の管理に参加していることが日本との大きな違いだと感じた。たとえば、最新の技術を提供する森林コンサル会社に対して民間も強い興味を示している。また、国を挙げて化石燃料の脱却を行おうとしている点も大きく違った。 フィンランドのように行政、企業、研究機関をもっと密に行うことで日本でも活性化する可能性があると感じた。今後、さらに探求をし、儲かる林業への施策を考え提言していきたい。
関連領収書番号	0118-01、0306-01